

平成 23 年 7 月 25 日

イベント活動報告

■ スペシャル科学工作『ゴムで動くレーシングカー』

日時:平成 23 年 7 月 24 日(日)

時間:10:00～11:30 / 13:30～15:00

場所:ぐんまこどもの国 児童会館 第 1 研修室

対象:小学生～中学生(小 1.2 年生以下は保護者同伴)

定員:各回 20 名

フォーミュラ・ニッポンやスーパーGT に参戦する小暮卓史が、地元群馬県の子供向け無料施設ぐんまこどもの国 児童会館で行なわれた「スペシャル科学工作」に参加しました。昨年は自身のヘルメットデザインのモチーフである「かざぐるま」を作りましたが、今年はゴムの動力を使って走るペットボトル製の「レーシングカー」を作りました。

工作教室はまず小暮のご挨拶から始まり、他の簡単なゴムを使ったおもちゃの紹介、その後いよいよレーシングカーの製作が開始されました。今回は「かざぐるま」とは異なり難易度が高く、レーシングカーのかたちになるまでは、苦戦するこどもたちが多く見られました。こどもの国のスタッフの指導の下、ペットボトルでタイヤを作り、それをボディとなるペットボトルに装着、運転席が切り取られ、輪ゴムを取り付けると、立派なレーシングカーに。そしてここからは自由にマシンを装飾してもらい時間となり、こどもたちは本領発揮とばかりに色を塗ったり、小暮オリジナルシールで飾りつけをしたり、ウイングをつけたり、様々なレーシングカーを次々と完成させ、こどもたちの想像力の豊かさに驚かされました。

製作に苦戦した分、完成後の達成感はいくらも、出来上がったレーシングカーを楽しそうに走らせる姿が印象的で、その姿を見て大人も自然に笑顔になる和やかなイベントになりました。一方の小暮はうまく走らせられないこどものアドバイスをしたり、出来上がった自慢のレーシングカーを見せに来るこどもたちと交流をしたり、こどもたちといっしょに熱中して工作を行なったことで、普段とは違う刺激を与えられ、こどもたちの大きいパワーをもらうイベントになったと思います。

最後には小暮からおみやげとしてオリジナルヨーヨーやリフレクターをプレゼントして、無事に 2 回の工作教室が終わりました。



当日は夏休みが始まったばかりということもあり多くの参加希望者が来場されましたが、製作時間と材料の関係上、1回の定員が20名ということで残念ながら参加していただくことができなかったご家族もあり、今後はより多くの方にご参加いただけるようこどもの国のスタッフの方々と策を考えていかなければならないと思っています。

小暮卓史のコメント

「工作教室に多くの子供たちが集まってくれ嬉しく思います。前回とは違い難易度が高かった分、完成した時の達成感が大きく、みんなの笑顔がとても印象的でした。目を輝かせて工作に熱中する子供たちから多くの元気をもらったように感じます。

これをきっかけにレーシングカーやレースに興味を持ってくれと、自分としてはさらに嬉しいです。この場をお借りして今回の工作教室開催にあたりご協力くださったぐんまこどもの国のスタッフの方々、スポンサーの方々に感謝し、御礼を申し上げます。

今後も日頃のレース活動はもちろんのこと、自分にできることを精一杯行なっていきたいと思っています」



